

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより第2号

令和7年12月26日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

現場実習を通して得られるもの

今年度の現場実習では1学年、2学年の生徒が新篠津村内の12か所の事業所でお世話になり、生徒は多くの学びを得ることができました。現場実習は、実際の現場で働くことを通して、働くとはどういうことか、働くためにはどんな力が必要なのかを知ることを目的として実施しています。

実習を終えた生徒たちからは、実習先の方たちの作業がすごく手早くてびっくりした、という声が多く聞かれました。自分の仕事をするのと同時に他のことにも気を配っているということと一緒に仕事をしていた気が付いた、という生徒もいました。

生徒は、実際に働いている方たちの様子を目の当たりにしながら、あるいは一緒に作業をさせていただく中で、働くことの厳しさや大切さに触れることができます。また、自分がどんな力を身に付けなければならないのかについての気付きを得ることができます。

また、現場実習では、自己理解を深めることも大事な目標の一つとしています。自分は何が得意で何が苦手なのか、自己の適性を知ることと、現時点で自分は何ができて何ができていないのか、自分の現在地を知ることが大事にしています。

1年生の生徒が実習後に書いたお礼のお手紙の一部を紹介させていただきます。

「私は今回の現場実習で長時間働くことの大切さや時間内に頼まれた仕事を終わらせることの大変さが分かりました。私が学んだことは、ホテルの先走りでは体力がたくさん必要だということ、挨拶や返事、報告するときは、自分が思っているより声を大きく出さないと相手には聞こえないということです。これからは体力をもっとつけて5時間以上働けるようにしていきたいです。」

実習を通して、自分が何を頑張ればいいのかという点が具体的になったということが読み取れます。「時間内に仕事を終わらせることの大変さ」を身をもって知り、そのうえで長時間働き続けることの大変さを知り、現場実習は5時間だけど、卒業後に向けて5時間以上働ける体力をつけたい、という思いを得ています。働くためには、体力が必要である、ということは学校でも何度も言われていることですが、頭でなんとなく理解していたときと、経験した今では明らかにやるべきことの解像度が違ってきます。実際の現場から学びを得ながら、卒業後の進路について考え、選択し、進路の実現に向けて努力する気持ちを育てるために、現場実習は、本校の進路指導において非常に重要なものです。

他に3学年現場実習中の校外実習の取り組みについても紹介させていただきます。今年度、3学年の現場実習期間中、実習を控えた、もしくは終えた生徒が校外実習として、村内の様々なところでお仕事をさせてもらいました。村役場、福祉園の窓清掃、B&G体育館、しのつ湖の艇庫、コミュニティスペースの清掃、商工会議所や福祉園、幸生園の駐車場のライン引きなどです。

学校で身に付けた作業の力を地域で役立てることにより、学校で学んだことを社会で生かしていくことができるということが生徒の学びにつながります。地域の方々に直接「ありがとう」と言ってもらうことで、喜びを感じることができる、このことが本当に大事なことで、卒業していく生徒たちの今後の糧になると考えます。

進路指導部長

1 学年 宿泊研修

1 日目の自主研修では、突然の大雨に見舞われましたが、『白い恋人パーク』『円山動物園』『AOAO SAPPORO』『プレミストドーム』『北大博物館』など札幌の名所で、HRごとに計画通りに学ぶことができました。

2 日目は、『駒岡資源選別センター』で選別後のビン・缶などの処理方法等を、『北海道開拓の村』で開拓時代の北海道の歴史を学び、『北海道博物館』では総合的に北海道の歴史についての学びを深めました。

『M(学ぶ) O(思いやり) K(協力)』を合い言葉に、仲間と協力して取り組んだこの2日間の経験で、学年としてさらに絆が深まったように感じます。今回の研修で得た学びを、普段の学習や次年度の見学旅行につなげたいと考えています。

1 学年主任



2 学年 見学旅行

12月2日～5日に京都・大阪方面へ見学旅行に行っていました。生徒たちは事前学習で、金閣寺や清水寺などの歴史的建造物について学び、訪問先や食事などを話し合いながら自主研修の計画を立ててきました。旅行期間中は天候にも恵まれ、美しい紅葉や寺院の雰囲気に触れ多くの生徒が景色に感動していました。自主研修では、自分たちで行程を確認しながら行動し、お好み焼き・串カツ・ハツ橋などの名物を味わい、関西ならではの魅力を満喫しました。また、USJ では臨機応変に計画を調整したり、時間を意識し行動したりと卒業後の自立につながる大切な力を育む姿も見られ、頼もしさを感じることができました。

最後に、荷物の準備や送迎などで御協力いただいた保護者の皆様に深く感謝申し上げます。

2 学年主任



しんしのつサマースクール

7月28日(月)、本校において、村内小学生を対象とした「しんしのつ・サマースクール」が開催されました。小皿&ペン立て作り(陶芸)、フシギ木琴&カスタネット作り(木工)、布製コースター&小物入れ作り(手芸)の3つの講座が開かれ、それぞれ作品作りを楽しみました。陶芸教室では、3学年の生徒が講師を担当し、ペン立てや小皿づくりの手順を教えながら交流を深めました。木工教室では、木枠に丁寧にやすりをかけた後ドライバーを使って組み立て、音程を確認しながら板を並べました。手芸教室では、布の端から5mmの幅で縫い進め、角で方向を変える際には針の進む幅を調整するなど、工業用ミシンを自在に扱う様子も見られました。みなさん熱心に説明を聞き、工夫をしながら作品作りを楽しんでいました。



総務部サマースクール担当

現場実習

本校では、学年ごとにねらいをもち、現場実習（職場を体験する学習）を行っています。

1年生は、経験の拡大を主な目標とし、村内12カ所、村外3カ所で実施しました。2学年は、より実践的な働く力を身に付けるため、村内8カ所、村外27カ所で実習を行いました。3学年は、卒業後の雇用・利用が可能な実習先に見極めていただく前提実習に、38名が臨みました。



現場実習は、実際の社会の中で働くことを経験できる大変貴重な機会です。生徒たちは、実習を通して「働く」上で大切なことを肌で学ぶことができました。受け入れていただいた企業の皆様、支えてくださった地域・保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

進路指導部現場実習担当

新高祭

今年も盛り上がりました！新條津高等養護学校「新高祭」

11月7日・8日の2日間、「天上天下唯我独尊」をテーマに新高祭が行われました。

1日目は、生徒会・文化委員会によるオープニングセレモニーと部活動やかくし芸の発表会を催しました。そして2日目には、学年ごとのステージ発表と各学科や教科の学習成果の展示を一般公開し、保護者や村内の方々に観覧していただくことができました。

午後からのエンディングまで大変な盛り上がりの中、全日程を終えることができました。ご観覧いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

【各学年発表テーマ】

- 1 学年「Happy New Year Friends!!」
- 2 学年「Count Down SHINKO 2025
～自分の枠を超えていく～」
- 3 学年「未来への扉」

文化体育部新高祭担当



しんしのつ会

参加した卒業生の感想を紹介し、卒後支援行事の報告とさせていただきます。

今回、ラウンドワン札幌すすきの店と大丸札幌店ザ・buffetに行きました。ボウリングをやるのは子供の時以来で、ラウンドワンに行くのは初めてでした。久しぶりにボウリングをやったので、忘れていたところがありましたが、なんとか35点取ることができました。友達と記念撮影をしたり、ボウリングをしたりしてとても楽しかったです。

ザ・buffetのバイキングは、どのおかずも本当に美味しかったです。特に美味しかったのはローストビーフとソフトクリーム、カレーの3つです。みんなと食事したり、話をしたりして本当に嬉しかったです。

高校時代の恩師と友達と再会できたおかげで、僕は仕事を頑張れる元気をもらいました。



進路指導部しんしのつ会担当

令和7年度学校運営協議会

第2回学校運営協議会を開催し、「地域とともに発展する学校の在り方」をテーマに熟議を行いました。当日は、3つのグループに分かれ、新篠津村との協働や地域資源の活用を通し、教育活動のさらなる充実にむけた具体的なアイデアを多数いただきました。熟議の最後には、各グループで交流されたアイデアを全員で共有し、学校と地域が一体となって子どもたちを育む大切さについても改めて確認することができました。いただいたアイデア等を今後の教育活動に活かし、子どもたちが笑顔で成長できる学校づくりを進めてまいります。



学校運営協議会担当

図書室より

本を読むことによって、たくさんの言葉に触れることで自分の伝えたいことをわかりやすく相手に伝えたり、自分で書きたい文を書きたいする力が豊かになります。たくさんの魅力的な本を取りそろえてお待ちしております！



情報教育部図書だより担当

《編集後記》

今年度も皆様の御協力により様々な活動に取り組むことができました。

来年も素晴らしい1年になりますよう、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。